

TAC 1級建築士設計製図試験を分析

今年度から本格的に建築士試験対応講座を開設した資格の学校TAC（本社・東京都千代田区）は、13日に実施された2013年度1級建築士設計製図試験速報をまとめた。

設計課題の内容は「景勝地に立つ地域に開かれた美術系大学のセミナーハウス」という設定で南側の12m道路に面し、その対面に湖を臨む敷地条件だった。

TACは「敷地内の段差などの意外な条件設定もなかったことから、難易度は比較的低く、受験者の完成率は昨年以上に高まる」と

完成度、表現力など質重視

分析している。

とはいえ、建ぺい率の制限以外は、自由度の高い条件であったため、「画一的な計画よりも、地域に開かれた自由で快適な提案型の計画が求められた」とし、今年度は、常識的な構造計画及び設備計画に基づいた「設計」の完成度と、「製図」の表現力、「記述」の説明力の質が、一層競われる試験になったとみている。

建築士受験など各種講座に関する問い合わせ・申し込みは、電話0120—509—117、または<http://www.tac-school.co.jp/>まで。